

守れ！イチモンジタナゴプロジェクト 2018 報告書⑤

開催日：平成30年8月18日（土）

時間：13時30分～15時00分

場所：レクチャールーム，白川

参加人数：21名中13名

運営スタッフ：佐々木，柳本，瀬尾，伊藤（英），瀬古，精華大学板倉先生，精華大学板倉ゼミ学生2名，精華大学板倉ゼミ卒業生2名，博物館実習生6名

内容：・修了証作り

- ・タライ水槽振り返り
- ・白川生物調査
- ・修了証贈呈

今回のテーマは「白川の生物調査をしよう」です。

4月から毎月行ってきたこのプロジェクトも今回で終了です。ということで，白川に向かう前に皆さんに渡す修了証を自分たちで作ってもらいました。

今年の修了証はプラ板製のキーホルダーにしました。あらかじめイチモンジタナゴが印刷されたプラ板に，好きな色を塗っていきます。5分足らずの短い時間で，しかも急をお願いしたにもかかわらず，オリジナリティーあふれる作品が着々とできあがりました。

プラ板は，トースターで焼いて縮めて完成するものですが，今回は時間がないので，焼く作業はみんなが白川に行っている間に職員が行いました。



その後、タライ水槽実験の結果についての一人一人の考察を、みんなに聞いてもらいました。

タナゴ同士の相性の問題や、貝を健康に飼育できなかったこと、水温が高すぎたこと等が多く挙げられました。また、独自に専門家の方に話を聞いて、次回のための提案をしてくださった方もおられました。

今回の実験を通して、繁殖方法が確立された家畜と異なり、自然界の生き物を繁殖させるのは一筋縄ではいかないことを感じてもらったのではないかと思います。タライ水槽実験自体はとてもおもしろい実験だと思いますので、皆さんからの意見を元に改善して、来年以降も続けていけたらと思っています。

さて、いよいよ白川に出発です。今年はとても暑い日が続きましたが、幸いにも今日は気温がそれほど高くなり、絶好の活動日和でした。みんな園外に出るだけでとても楽しそうでした。



みんなで記念撮影

白川では、手持ちの網やもんどりを使い、思い思いの場所で生き物を探しました。

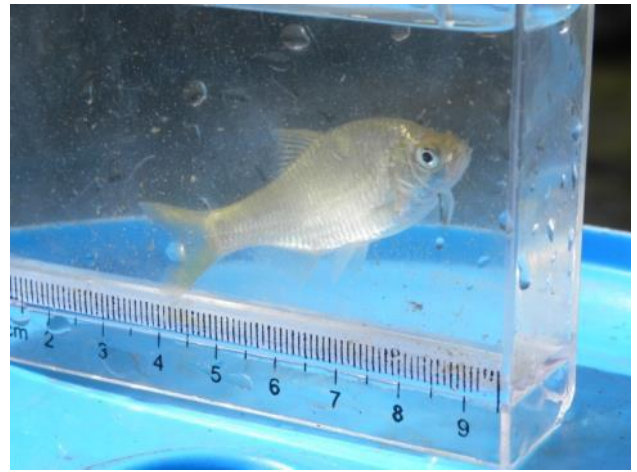


プラナリアも観察させてもらいました

30分ほどで川から上がり、採取した生き物を観察しました。



種類ごとに分けてみます



カネヒラのメス？

採取した生き物の概要は、以下の通りです。

貝類…カワニナ多数，二枚貝（大）12匹，二枚貝（小）多数

魚類…ヨシノボリ，モツゴ，タナゴ（カネヒラ？），オオクチバス稚魚各1匹

甲殻類…テナガエビ2匹，その他のエビ多数

昆虫…ヤゴ（トンボの幼虫）数匹

二枚貝（大）の内，タナゴが卵を産みそうなもの9匹と，ホタルの幼虫の餌になるカワニナ，外来種のため生きたままの移動が禁止されているオオクチバスを動物園に持ち帰り，それ以外は川に放しました。

熱中症やケガもなく，みんな元気に動物園に戻って来られたので，ほっと一安心です。

後は，完成した修了証とこれまで記入してきたワークシートを受け取って終了です。



ステキな修了証ができました！

このプロジェクトを通して，イチモンジタナゴという貝に卵を産む魚が身近に存在していて，繁殖するためには二枚貝が必要不可欠なこと，その魚や貝を含む日本在来種が生息する環境が危機的状況にあり，何とかしていかないといけないことなどをいろいろな活動を通して学んでもらいました。また，学んで考えた事を，周りの人に伝えていってもらうために，動物園の来園者向けの掲示物も作成してもらいました。イチモンジタナゴの気持ちを代弁してもらった素敵なカードは，一年間イチモンジタナゴ繁殖施設（ヤブイヌ舎の北側）に掲示しますので，是非見ていただきたいです。

そして、このプロジェクトは来年度も内容を変えて実施する予定です。今回参加された方も、まだ参加したことのない方も、周りの方とお誘いあわせの上（もちろんお一人でも大丈夫です！）、参加をご検討ください。細く長く、地道に活動していくことで、イチモンジタナゴが生きていける環境を一緒に作っていきましょう！

今年度参加して下さった皆さま、本当にありがとうございました。